

視覚障害学生の支援ニーズに関するチェックリスト(例)

1. 講義等

- 履修登録方法
- 教科書: 点訳、拡大、電子データ化等
- 配付資料: 点訳、拡大、電子データ化等
- 参考文献: 点訳、拡大、電子データ化等
- 補助具等の持ち込み・使用: ICレコーダー、タブレットPC、ルーペ、拡大読書器、電気スタンド等
- 板書の読み上げ
- 座席位置: 前方、窓際、まぶしくない席等
- 情報処理実習: TAによる対応、個別指導等
- 体育の授業: 参加可能な種目の選定、視覚障害に特化した種目の検討等
- 視覚を用いた活動の多い授業: 実験方法の検討、ビデオ映像への対応等
- 実習、フィールドワーク

2. 試験・課題

- 定期試験の受験方法: 出題・解答方法、時間延長、別室受験等
- レポート・授業内課題(コメントカード等)などの提出方法: Eメール等

3. 環境

- 教職員への周知内容及び方法
- 周囲の学生への周知内容及び方法
- 学内各部署の連携体制
- 相談窓口の設置
- 重要な掲示内容の伝達: 読み上げ、Eメール等
- 提出書類の代筆
- 図書館へのアクセス: 検索補助、誘導等
- 視覚障害学生用学習支援室の設置
- 支援機器の整備: 点字プリンタ、点字ディスプレイ、画面音声化ソフト一式、点字携帯端末、拡大読書器等
- 学習支援者の配置: TA、対面朗読、教科書・配付資料の電子データ化等
- 学生ボランティア等の養成
- 点字ブロックの敷設
- エレベーター: 点字表示、音声案内
- 学食・売店の利用
- 盲導犬への対応

4. その他

- 建物や教室等の入学前オリエンテーション
- 学生寮、アパート等の手配